

機械器具（25）医療用鏡
一般医療機器 可搬型手術用顕微鏡（36354020）
特定保守管理医療機器「手術用顕微鏡OMS－800」の付属品
分離タイプ小径40D前置レンズセット MS－FLO9

【警告】

分離タイプ前置レンズはレンズに破損が無い事を確認して取り付けること。

〔レンズ片が落下して負傷する恐れがあります。〕

分離タイプ前置レンズの取り付け、取り外しは患者の上で行わないこと。

〔分離タイプ前置レンズが落下して負傷する恐れがあります。〕

分離タイプ前置レンズを取り付けた際は、分離タイプ前置レンズを正面方向に90°回転させた状態でのみ、前置レンズIN/OUTレバーを操作すること。

〔分離タイプ前置レンズが落下して負傷する恐れがあります。〕

分離タイプ前置レンズユニット本体をセット及び収納する際は、分離タイプ前置レンズを正面方向に90°回転させた状態であることを確認すること。

〔分離タイプ前置レンズが落下して負傷する恐れがあります。〕

分離タイプ前置レンズと術部を調節する際は、分離タイプ前置レンズと患者が接触しないよう確認しながら行うこと。

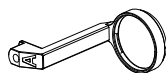
〔機器が接触して負傷する恐れがあります。〕

＊【形状・構造及び原理等】

1. 構成

本品は、分離タイプ小径40D前置レンズ及び分離タイプ前置レンズ滅菌ケース（小）で構成される。

- ・分離タイプ小径40D前置レンズ



- ・分離タイプ前置レンズ滅菌ケース（小）



2. 作動原理

手術用顕微鏡OMS－800の対物レンズ下に配置することにより、焦点位置を移動する。

3. 使用環境

温度：10℃～40℃

湿度：30～75%（結露なきこと）

気圧：700hPa～1060hPa

【使用目的又は効果】

手術用顕微鏡OMS－800と組合せ、眼底の手術、処置または観察に使用する。

【使用方法等】

＜取付方法＞

1. 手術用顕微鏡OMS－800に、分離タイプ前置レンズユニット本体を取り付けます。（取り付け方法は、取扱説明書の「分離タイプ前置レンズユニット本体の取り付け」を参照のこと。）
2. 前置レンズIN/OUTレバーを時計回りに回し、対物レンズ下方に分離タイプ前置レンズ取付部を出します。
3. 分離タイプ前置レンズ取付部が動かないように片方の手で保持しながら、滅菌した分離タイプ小径40D前置レンズを横向きに分離タイプ前置レンズ取付部のピンに奥まで差し込み、正面方向に90°回転します。
4. 前置レンズIN/OUTレバーを反時計回りに回して収納します。

＜使用方法＞

1. 手術用顕微鏡OMS－800の顕微鏡操作ハンドルを持ち、電磁ロック解除スイッチを押しながら顕微鏡を上方へ約200mm以上上げます。
2. 分離タイプ前置レンズユニット本体の前置レンズIN/OUTレバーを時計回りに回し、分離タイプ小径40D前置レンズを対

物レンズ下方に回転させて分離タイプ小径40D前置レンズを取り出します。

3. 手術用顕微鏡OMS－800の前置レンズ連結／非連結ノブを、反時計回りに回して分離タイプ小径40D前置レンズを下方へ移動します。
4. 手術用顕微鏡OMS－800の顕微鏡操作ハンドルを持ち、電磁ロック解除スイッチを押したまま、角膜表面に照明光が集光するように顕微鏡を位置調節します。
5. 手術用顕微鏡OMS－800のフットスイッチのXY微動レバーで照明光が角膜のほぼ中央から入るようにします。
6. 顕微鏡を通して見て観察視野内にフレアー（反射光）がある際は、前置レンズ微動スイッチで前置レンズを上下動操作し、フレアーが消える位置にします。眼の違い、またIOL移植眼では、フレアーが消えない場合があります。
7. 手術用顕微鏡OMS－800のフットスイッチのフォーカスアップダウンスイッチ操作により、観察部位に焦点を合わせ、眼底を手術、処置または観察します。
- ＊8. 必要に応じて、前置レンズの上に滅菌された分離タイプ前眼部観察レンズを載せ、前眼部を手術、処置または観察します。
9. 分離タイプ小径40D前置レンズを収納する際は、手術用顕微鏡OMS－800の顕微鏡操作ハンドルを持ち、電磁ロック解除スイッチを押しながら顕微鏡を上方へ約200mm以上上げます。
10. 分離タイプ前置レンズユニット本体の前置レンズIN/OUTレバーを上方にカチッと音がするまで移動させ、確実に連結されていることを確認します。
11. 分離タイプ前置レンズユニット本体の前置レンズIN/OUTレバーを反時計回りに回し収納します。

詳細は手術用顕微鏡OMS－800「取扱説明書」の「使うための準備」、「使用中の操作」を参照のこと。

【使用上の注意】

基本的注意事項

分離タイプ小径40D前置レンズは使用前に必ず滅菌すること。

使用上の注意事項

1. 高圧蒸気滅菌（オートクレーブ滅菌）によりレンズのコーティングは徐々に劣化して曇りが生じますので、眼底観察に支障が生じたときは新しいものと交換してください。
2. 機器を設置するときは次の事項に注意すること。
 - （1）水のかからない場所に設置すること。
 - （2）気圧、温度、湿度、風通し、日光、ほこり、塩分、イオウ分などを含んだ空気などにより悪影響の生ずる恐れのない場所に設置すること。
 - （3）傾斜、振動、衝撃（運搬時を含む）など安定状態に注意すること。
 - （4）化学薬品の保管場所やガスの発生する場所に設置しないこと。
3. 機器を使用する前には、必ず手術用顕微鏡OMS－800の第2アームのバランス調節を行うこと。
4. 機器を使用する前には、手術用顕微鏡OMS－800の前置レンズユニット固定レバーがLOC側の位置にあり、前置レンズユニットが確実に固定されていることを確認すること。
5. 機器の使用中は次の事項に注意すること。
 - （1）診断に必要な時間をこえないように注意すること。
 - （2）機器全般及び患者に異常のないことを絶えず監視すること。
 - （3）機器及び患者に異常が発見された場合には、患者に安全な状態で機器の作動を止めるなど適切な措置を講ずること。
 - （4）機器に患者が触れることのないよう注意すること。
6. 機器の使用後は、次の使用に支障のないよう必ず洗浄しておくこと。

取扱説明書を必ずご参照ください

廃棄

装置を廃棄する場合は、廃棄、リサイクルに関する自治体の条例に従うこと。

【保管方法及び有効期間等】

1. 貯蔵・保管（非包装（非梱包）状態）
温度：10℃～40℃
湿度：30%～75%（結露なきこと）
気圧：700hPa～1060hPa
2. 貯蔵・保管（包装（梱包）状態）
温度：-20℃～50℃
湿度：10%～95%
3. 輸送（包装（梱包）状態）
温度：-20℃～50℃
湿度：10%～95%
4. 保管場所については次の事項に注意すること。
（1）水のかからない場所に保管すること。
（2）気圧、温度、湿度、風通し、日光、ほこり、塩分、イオウ分などを含んだ空気などにより悪影響の生ずる恐れのない場所に保管すること。
（3）傾斜、振動、衝撃（運搬時を含む）など安定状態に注意すること。
（4）化学薬品の保管場所やガスの発生する場所に保管しないこと。

*【保守・点検に係る事項】

滅菌方法及び滅菌条件（推奨）

前処理：純水にて洗浄し、水気を柔らかい布などで拭き取り、完全に乾燥させること。

方 法：高圧蒸気滅菌（オートクレーブ滅菌）

条 件：121℃の飽和水蒸気内で 25 分間、又は 132℃の飽和水蒸気内で 5 分間。

始業点検

外観に歪みや壊れ、傷、汚れがないこと、レンズに曇りがな
いことを確認すること。

使用後の措置

使用後はできるだけ早く血液、体液、組織等の汚れを除去し
洗浄、消毒、滅菌すること。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者

株式会社 トプコン

TEL 03-3558-2506